

辰巳会 供養塔 除幕式

除幕式に思う

春光や供養塔影濃し除幕の日
読経や摩耶がごだまし風光る
亡き友の想出語らん鳥雲に

(菅橋)

此日の辰巳会供養塔の除幕式に於て供養塔のテープは長老の一人永井幸太郎さんの手で静かに剪り落された。今年には気候の幾分おくれた関係で境内桜一輪も咲いて居らず、やっと阪急沿線にぼつぼつほころびる程度だった。振りかえって昨年の辰巳四十周年記念全国大会は四月五日に催された。其の日も快晴に恵まれた。物故者の慰霊祭も同じ祥竜寺の本堂で施行された。式後一同貸切バ

福田 秀吉

供養塔
解散 悲報 刳肺 肝
社友 袂 別 四十年
遺業 隆々 護名 跡
供養塔 前 偲 故人

ス数台に分乗し中山手通りの相楽園の宴会場へ繰出した。沿線到る所万葉の桜で誠に素晴しかった。熊内住宅街の桜、新生田川畔の桜、北野のオリビヤ(鈴木商店の寄宿舎の一角にあった所)辺の桜などつづく桜懐しく仰ぎ観てやがて相楽園に到着、流石は小寺邸跡のこととて実に豪壮なもの。饗宴、アトラクション、懇談、庭園観賞(特に元居留地にあつた「明治の異人館など」想出深い)にと楽しい時間を過ごすことが出来た。一句浮んだ瞬間パツタリと蜘蛛翁(永井幸太郎氏の俳号)にお会いした。「駄句を一つ御披露します」「四十年経し今桜万葉かな 菅橋」。翁が「君それ仲々いいよ」とお褒めのお言葉を頂いた。想えば昭和二年四月二日鈴木商店並に其の傘下の各社の一同がちりちりばらばらになつて以来あらゆる辛苦艱難の数々を嘗め尽した揚句星霜四十年がまたたく内に流れ過ぎた。鈴木の大木な幹や大きな枝は太陽鋳工に、神戸製鋼に帝人に、日商等々にと立派にその伝統を伝え、成長し更にそれに無数の

孫枝を盛りあげて今日の盛況一万余の桜と相成った。思えば一方先輩同僚後輩の鬼籍に入られた方々も多い。誠に感慨無量と云うべきである。後日四、五人の友人より処望されるままに此の駄句を色紙に書きな

鈴木よね子刀自と

神戸市立女子商業学校

(現在神港高等学校に合流)

本校創立について鈴木商店よねさんが五年間にわたり二万円の寄附金を申し出られたので設立が決定せられ、毎年四千円と生徒の授業料とで経営維持することを建て前として、大正六年四月九日、文部省の設立認可を得て開校された。開校後日も浅い五月五日校章を制定し、実費二〇銭で之を配布し着用させた。校章は満月を象つたもので、多大の後援を与えられたよね子刀自の誕生日が十月十五日の月明の夜であったことに因んだということである。

よね子刀自はまた大正七年グラウンドピアノを寄贈され、神戸幼稚園にあづけて音楽の時間を同幼稚園で行なった。大正八年四月一日、本年度

より鈴木よね氏寄附金が年額四千五百円に増額されている。又同年九月一日便所一棟が寄附(四五九円)され大正十年度で寄附は終了したがその年二月二十七日校舍新築予算が市会を通過している。

卒業生の採用についても自己の店や知り合いの会社にも働きかけて努力されたようで、第一回卒業生中七名が就職している。しかもその中には卒業式の立役者である答辞を読んだ生徒代表の姿もあった。創立十周年記念式典では本校創立功労者として、謝辞が送られた。その一節を見ると「夙に女子商業教育の必要を認められ、資を出捐して本校の創立を賛

助せられ其の開校を見るに及びては草創不備の際、陰に陽に校基の確立を擁護せらる。爾来十星霜校運次第に発展して今日に至れるは、洵に貴下援護無育の効多きに因らずんばあらず、今や創立十周年を記念するに当り、吾等職員生徒卒業生一同、貴下の功労を追慕して、感謝の情切なるものあり、茲に一同を代表し謹んで深厚なる謝意を表す」

とあり、功を賞讃している。大正十五年五月発行の学校一覧表によると「大正七年五月十九日、鈴木校友会名誉会頭邸に到り新入会員の紹介を行う」という一行がある。当時の校友会誌が現有せず詳細は不明であるが、そのプログラムによって當時を偲ぼう。

鈴木邸訪問記念

学芸会プログラム

神戸女子商業学校校友会

- 一、合唱 愛国(本科一年二組) 二名出演
 - 二、ダンスメイボール(本科一年二組) 三四名出演
 - 三、朗吟 村の細道(本科二年一組) 一名(姉)大角綾子(弟)長谷川幸子他九名
 - 四、講話 綿(専修科) 五名
 - 五、競技 記帳と手紙(本科二年二組) 二〇名
 - 六、舞踏 ツバメ(本科一年一組) 一九名
 - 七、所作 花筐(本科一年二組) 一三名
 - 八、談話 西洋雑話(本科二年二組) 四名
レモンド千代子、今尾ひで子、森寿子
内山芳子
 - 九、所作 三人片輪(専修科) 四名
三木ひろの、森本けい、林千代、松田キヨ
 - 一〇、合唱(二部)花(本科二年二組) 三〇名
 - 一一、所作 笑の棒(本科二年二組) 一三名
 - 一二、筆曲 千鳥(本科一年一組) 五名
 - 一三、ダンス・クワドリール(本科二年一組) 三四名
 - 一四、合唱 校歌(生徒一同)
- 裏面には説明や歌詞が印刷されており、主なものを拾って見よう。
- ①百合(純潔を意味す)我國輸出花の首位をしむる事にちなみて対話
 - ②撫子

明治天皇御製

はらはすば思はぬ方に傾ぶかん

つゆおきあまる撫子の花

③牡丹(富貴にして華麗を意味す)
落尽残紅始吐芳 佳名喚作百花王
競誇天下無雙艶 独占人間第一香

④薔薇(美を意味す)
花咲き初めし折にこそ
薔薇の色は極みなれ
恐れ雲の絶間より
もれて希望は輝ける

⑤重(謙讓真面目を意味す)
あなうるわしき花
愛らしき花
斯る寂しきあたりに
汝ひとり住はんは
いと惜しき事なり
広き世界の国々に
行きて人々の心に高き思想と
潔き愛とをつたえよ
美しき汝を見ん人
限りなく悦ばんに
あなうるわしき花
あな愛らしき花

①、合唱

②やさしき花よ やよ花よ

自然の母のみ乳房に

きよく静かにほほ笑みつ

人の趣味よ尚かれと

ささやく汝がつとめこそ

げに美はしく貴けれ

②ああ美しき花よ花

人の情の花の上に

自然の母の胸の上に

ふみの林の木々の上に

咲ける汝こそ永へに

花のつかひとながめまし

八、西洋雑話

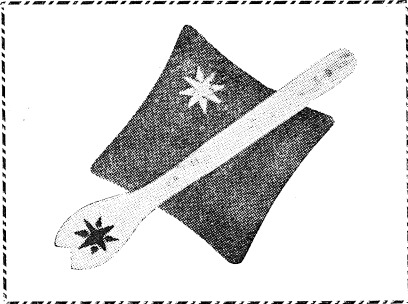
1. コロンブスの卵

2. ニュートンの懐中時計

3. ワインスベルヒの落城

4. フリードリッヒ大王と兵士との問答

▼ 沢村亮一氏の書



よね刀自が開校式当日、全新生に贈られたよねマーク入りのへらと糸巻

宗道 祥神	早起未更衣 静坐一炷香
既着衣 帯必謹 神侍	眠不達時 食不妄飽
接客如獨處 坐立如侍	尋常不為言 言則必行
跡穢勿讓 當事再思	
勿妄想 遠慮持身	
負丈夫之氣 抱小兒之心	
就夜如晝 雖禱如眠	
甲辰 臘八之日	